

「然るに我々はそれによらずして、すべてのものを求めたので、當然失敗したのだ。さうだ、此處にこそ——我々の生涯の務めがあるんだ」

この夜はネフリユードにとつては全く新しい生活の曙であつた。けれどもそれは勿論新しい生活へ入つたからではなくて、この夜以後、事々物々が、前とは全然變つた新しい意味を持つて來たからである。

ネフリユードのこの新生活の紀元が如何にして終るかは、たゞ歲月によつてのみ證明せらるゝであらう (完)

## 復 活

定價金八拾五錢

大正十三年十一月十五日印刷

大正十三年十一月廿二日出版

著 者 野 村 賢 三

發行者 前 田 隆 一  
東京市日本橋區元大工町一番地

## 發 行 所

東京市日本橋區元大工町一  
番地 振替東京二五一三〇

金 剛 社



# 怪人對巨人

定價 壹圓  
送費 八錢

豪俠自ら許すアルセル界の  
ンと海を越えて來れる英探偵界の  
巨星シヤロツクホルムスとが、世  
界の樂園巴里を中心として、猛  
たる大活闘を開始するの時は、た  
百萬法當籤の第二十三回五百四十  
號公債の紛失、名玉青色ダイヤの  
一行方、神秘なる「ユダヤの古燈」  
これらの奇なる題目を中心として  
『怪人對巨人』の闘争愈々白熱し來  
る。『モーリス・ブルランとコナン  
ドイル』との比較は本編に於て遺  
憾なく讀者の前に展開す。

# 怪紳士

定價 八十五錢  
送費 六錢

一等船客中の大盗は貴族か？  
はた博士か？蟻の這ひ出る隙も  
なき城中の貴重品が消えた收監  
中の怪盗がいつの間にか乞食の  
換玉に！汽船中の兇賊！見れば  
自分より先捕縛した！來て見れば  
自分より先捕縛した！來て見れば  
ス！アルバン！遅かりし名探偵ホルム  
ス！アルバン！遅かりし名探偵ホルム



金剛社出版……………  
アルセル・ヌルパン叢書

ルバンは實に奇妙な男である。科學  
の智識にも精しければ、史學も文學  
もヘナチヨコ學士共は足許へも寄り  
付ぬ、すばらしい力量があつて、日  
本の柔術を心得てゐる變裝術にかけ  
ては天下第一である。精力は絶倫で奇  
智縱横彼は熱烈なる愛國的強盜紳士  
である。風采典雅にして熱情に富み、  
舉止端麗、曾て人を殺した事がない。  
血は大嫌ひ、彼が全歐羅巴を股にか  
けて出沒するや到る所に湧くが如き  
賞讃と問題を醸す。本書は彼の活  
躍史である。まだ本書を手にしぬ人  
は必ず一冊だけでもよいから讀んで  
戴きたい。

# 奇巖城

定價 壹圓  
送費 八錢

佛國ループル港に程近き海岸に、エイギユイユ・クリユーズ(奇巖城)は今猶巍然として屹立してゐる。この奇巖城に藏され、も誰一人としてこの奇巖城に入らぬ。術を知らずしてこの奇巖城に入る。記した一枚の紙片ルパンと一謎を學生との競争……

# 死の連判

定價 壹圓二十錢  
送費 八錢

フランス上下の名士名門を網羅せる其事件の連判状死の連判！秘密！その秘密を中心としてルパンとドブレク代議士の闘争！この闘争に於て醜くもルパンは敗北せんとしてゐる。抗し遂に悪漢ドブレクに抗し得ざるか？

# 謎の快男子

定價 一圓  
送費 八錢

ルパンが關係せる奇妙痛快なる左の六篇の探偵小話を蒐む。  
日光の手品 地獄の畏  
結婚の指環 眞紅の肩掛  
陰影の符號

# 黄金の三角

定價 一圓  
送費 八錢

佛貨十億萬法の行衛！奇々怪々の佛蘭西の國際的の大事件——世間の耳目から遠ざかつてゐたルパンが、俠勇の血押へ難く挺身危地に赴く時がきた！ああ金の三角上の舞踏！ルパン一流の國際的舞臺の大戯曲！

# アルセーヌ

戲曲  
送費 八錢 定價 一圓

シャルムラアス太公爵にすつかり化け込んだ富豪グルネイ・マルタンが命よりも大切な確と握つた秘藏の品。寶冠を蛙を狙ふ蛇のやうに窺ひ寄る！處現はれたのは探偵ゲルシヤアル！勝敗は何れに？

### 三十棺桶島

定價 一圓  
送費 八錢

三十棺桶島に偶々千古の神秘に  
て奇怪な事件起るや、彼の立  
義侠心と好奇の心とは、終に  
たして單身敵地に走らしめた  
來るや疾き事神の如く、其の  
快力を振ふや、亂立所に絶た  
パン、ルパン、幾世に未だ解  
せられざりし奇怪な謎も、凄  
向け得ざる怪事件も、彼を以  
忽ち科學的に釋然として氷解  
である。抑々千古の謎とは何  
惨なる事件とは何か？

### 千古の奇蹟

定價 八十五錢  
送費 八錢

三十棺桶島に解決せざりし、不可  
解な謎は、本篇によつてすべて氷  
解されて行く、千古の奇蹟とは、果  
して何か？  
附録——神秘の暗、謎の家、アルセ  
ーヌ・ルパンの結婚——

## 花と花言葉

佐藤紅綠序  
橋本墨花著

◇東京市日本橋區元大工町一番地・紅玉堂出版〔振替東京三三一六番〕◇

花と花言葉の必要なときがだん／＼來ました。私達は花を摘  
んで其美を賞してゐたばかりではなんの風流味もない。ある時  
●ごから一束の花、一輪の花を送られたとき、その花が何を語  
つてゐるものであるかを知つてゐなければその送り主の心持を  
無駄にしなければならぬ。◇社交術に長ずる人はだれしも花  
言葉を心得てゐなければならぬ。◇ペンや筆を持たずに、押  
し花ひとつを手紙のうちに封入されても、それに驚かざる心持  
がつねに必要なである。◇本書一冊は社交術の寶典である◇

定價一圓八十錢・送料十三錢

出版目錄無代送呈

ハガキで申込下さい、即時御送り申ます  
本書に挿入してあります、愛讀者カード  
を御送り願ふことが出来れば幸甚です。

東京市日本橋區元大工町一

紅玉堂書店行

郵便はがき

一錢五厘  
切手  
貼付

愛読者カード No.

御住所	
氏名	
書名	
この書籍をお求めにたつた書店の名	

まことに御手数でございますが上記各欄に御住所氏名を御記入の御上投函下さる様に御願いたします。このカードによりまして弊堂出版報告と其他の通知をいたしたう存じます。

286
127



終

